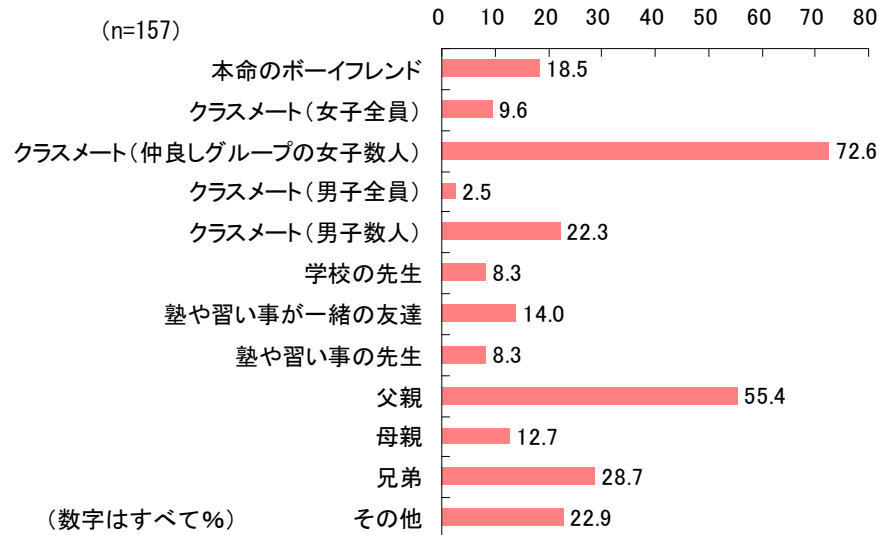


01 Woman's Voice

2013バレンタイン狂詩曲～

友チョコ急増で、母親のセンスや腕前が娘の人間関係に影響!?

Q. 今年、娘がチョコを渡した相手は？



チョコのCMも母娘で手作りして女子友達にプレゼントするシーンが増えているように、この2～3年でバレンタインデーは女子の友情を確かめ合う日になったようだ。

小中学生の子どもを持つ母親、全国312人に今年のバレンタイン事情を調査したら、娘がチョコを渡した相手は圧倒的に仲良しの女子(72.6%)。かろうじて半数を超えたのが父親で、男友達は本命もトモチも2割前後にとどまった。娘が用意したチョコの数も、義理でさえ男子には2個以下がほとんどなのに、友チョコは5～10個がトップ。11個以上

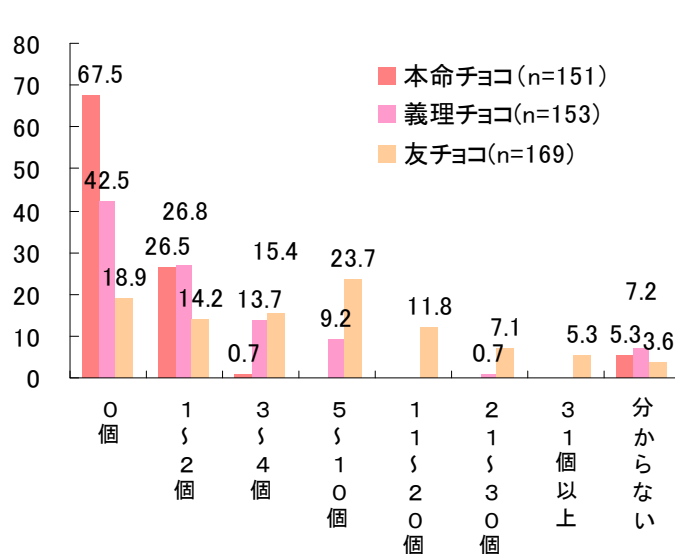
用意した子も24.2%と4人に1人の割合だ。因みに息子を持つ母親に、もらった数を確認したら、4割が0個、1～2個が37.7%で、義理も含めて3個以上もらったモテモテ君は15%に過ぎない(5%は不明)。

小中学生の世界では女子だけで完結してしまうバレンタインだが、母親は大変なことになっているようだ。チョコの準備に全く関わっていない母親は、わずか11.7%。一緒に手作りが半数以上で、一緒に購入が2割、フルタイムで働いていようが関係なく巻き込まれている。

【娘の母】◆4年生くらいから友チョコ熱がクラスに広まり、6年生の今年はクラス女子全員に渡すことに。渡さないとクラスの女子の人間関係が崩れるらしい(45歳/フルタイム) ◆今年は友チョコパーティを16日にしようと誘われて、15日の夜に20人分作りました(38歳/専業) ◆女同士だから中身にランク付けされるので手も抜けず、毎年他とはちょっと違うメニューにせねばならず、頭痛い(43歳/専業) ◆たくさんのママ友が手作りチョコの写真をフェイスブックにアップしていたので驚いた。私は手作りが苦手なので正直面倒(42歳/専業) ◆父親へが一番の義理だったようで、一緒に買いにいったとき、パパの分は板チョコをチョイス、あまりにもかわいそうだったので注意した(39歳/専業)

【息子の母】◆友達の女の子から「お返し期待してるね」と言われたそうで、今から悩んでいます(38歳/パート)

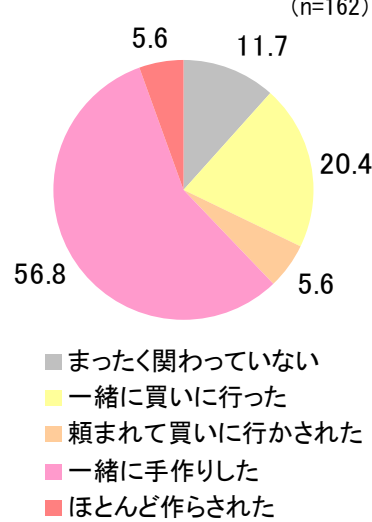
Q. 娘が用意したチョコの数は？



手作り派は、チョコクッキーやブラウニー、フォンダンショコラなど凝ったものを最大で200個作った人も(平均で33.6個)。買い物から予行演習、前日は夕食抜きで深夜までなかったなど手間も大変な上、材料費やラッピングなどバカにならない出費で、一緒に手作りする時間が嬉しい反面、行き過ぎでは？と疑問視する声も。

友チョコの交換になっている分、ホワイトデーは何もしないとする母親が多いが、男の子はお返しが必要。今度は息子と一緒にクッキーを手作りする役目が、母を待っている。

Q. 母親の関わり方は？



所長の目

クリスマスや雛祭りとは違い「気持ちを伝える」ことが主題のバレンタインは、愛情から義理、さらに友情をも包括した一大イベントになっている。気持ちの象徴がチョコというのも、誕生日のように重くなくて助かるし、親子で手作りできる時間が持てるのも流行る一因だろう。が、中学生以下の子の母親にとっては料理の腕やセンスが一堂に比較される場にもなっているようだ。

以前は誕生会や運動会の料理で比較されても、ごく仲間うちだったが、今は広く浅い交友関係に加えてフェイスブックなどで情報が拡散されるため、気苦労も格別。運動会や学校行事では祖父母の目も光るらしい。こうしたことが苦手なママや忙しいママのお助けサービスが必要かもしれない。

(植田奈保子)

※2013年2月21日～24日実施。全国の小中学生を持つ母親312人回答。詳細はくらしHOWへ問い合わせを

Real Voice

母親の気持ち

02 HOW's View

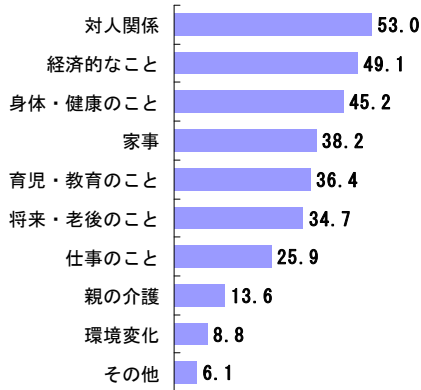
97.7%の主婦がストレスを実感 夫にはイラっとしながらも、実は頼りに

全国の主婦687人にストレス調査を行った。結果、ストレスがないと答える人はわずか2.3%。主婦もみんな何らかのストレスを抱えている。

その内容について詳しく聞いたところ、対人関係が一番多く53.0%。以下は経済的なこと49.1%、身体・健康のこと45.2%と続く。その対人関係のストレスの相手は、夫48.5%、子ども24.8%、義母・義父23.4%と、身近な家族への不満が多い。特に夫へは、「やってもらって当たり前のような態度」「だらしない」「小言や文句が多い」など、家で夫に対してイラっとしている主婦の姿が想像できる。

また、次に多い経済的ストレスについては、家計・生活費54.5%、夫の給与30.1%、子育て・教育資金27.9%の結果に。金銭的な問題は、“人に相談できないこと”で、自分や夫の不倫に次いで高く、主婦にとって人には相談

【ストレスを感じること】 単位%



2013.2.7～2.13 全国の既婚女性を対象にWEB調査(n=687)。詳細レポートはくらしHOWのサイトへ

しづらい深い悩みとなっている。

そんな悩み多き主婦の良き相談相手は、夫49.6%、友達48.5%、母親44.2%。夫にはイラっとしながらも、実は頼りにしている。主婦のストレス問題は夫の肩にかかっている。

(くらしHOW研究室/大田司)

03 Group Eyes

ママは「食品汚染」と「いじめ」が心配 「園児とママのデータ vol.10」を発行

園児とママの情報誌「あんふあん」では、読者調査をまとめた「園児とママのデータ」を毎年発行している。10回目当たる2012年度調査では、「子育てに関する心配・不安」を特集。食生活、健康・発達、性格、生活全般・交友関係、社会問題、入学、入園・園生活の7項目で、現在0～6歳の子を持つ母親たちが感じている不安や心配について詳しく調査した。

その結果、食品の放射能汚染87.2%、残留農薬86.1%、いじめ85.1%の3項目において、心配している母親が85%を超えていることが判明。また2012年度は、幼稚園児のタブレット使用やママのスマートフォン使用率が増加し、デジタル化の進捗が顕著な結果となった。このデータ集には、毎号興味深いデータや幼稚園児ママのコメントが数多く紹介され、業界の注目も集まる。今回のデータ集に関し、あんふあん



A4判68ページ1500円(税込) 購入は下記URLより
<http://r.living.jp/enfant/data10/>

編集長の三山百合子は「最近、野菜嫌い対策に“子ども用青汁”がヒットしたように、子育て中ならではの不安に着目した商品が売れている。そうした現代の親の不安の特徴が分かるはず」と語る。データから見る子育ての不安に、商品開発のヒントがありそうだ。

(サンケイリビング新聞社 CC室)